

いちにの！ さんだりハ

Vol.13
2022.2

新たな年を迎えて

年が明け、ひと月が経ちました。
皆様はどのような心境で、お過ごしになったでしょうか。

希望を抱き、前向きな気持ちで心穏やかであった方も居れば、
反対にそうではなかった方も居られるかと思います。

今年も当院で、約70名の患者さまが年越しをされました。
書いていただいた抱負や書き初めからは、文字に込められた願いや力強さを感じます。
全ての方々が、様々な思いを抱えながら、
ご自宅とは異なる環境でリハビリに励まれています。

そんな患者さま方にいつも寄り添うことのできる、私共職員でありたいと思います。
また、患者さまのみならず、ご家族様にとりまして、
支えとなる存在になれたらと祈念しております。

本年も、さんだりハビリテーション病院を
何卒よろしくお願いいたします。

栄養指導

「栄養指導は聞きたくない。」
患者さまが管理栄養士へ、よく仰る言葉です。

栄養指導には、「～はだめ」「～を食べ過ぎ」など制限される印象をお持ちではありませんか？
もちろん、適切な栄養を摂取できるように助言はしますが、それだけではありません。一人ひとりに必要な栄養の内容と量を、無理なく摂れるよう生活様式や嗜好などに合わせて、管理栄養士と一緒に考えていきます。



食事は毎日の習慣であるため、継続できるかが大切です。ご本人ができる範囲でよりよい食生活を送れるように、また食事の大切さを実感していただけるように、「指導」というよりも、「お手伝い」をしたいと思います。

そこで当院では、栄養指導に対する苦手意識を軽減し、お話しやすい雰囲気を作るための取り組みを始めました。お茶とデザートを楽しみながら、患者さまに和やかなひと時をお過ごしいただいております。

